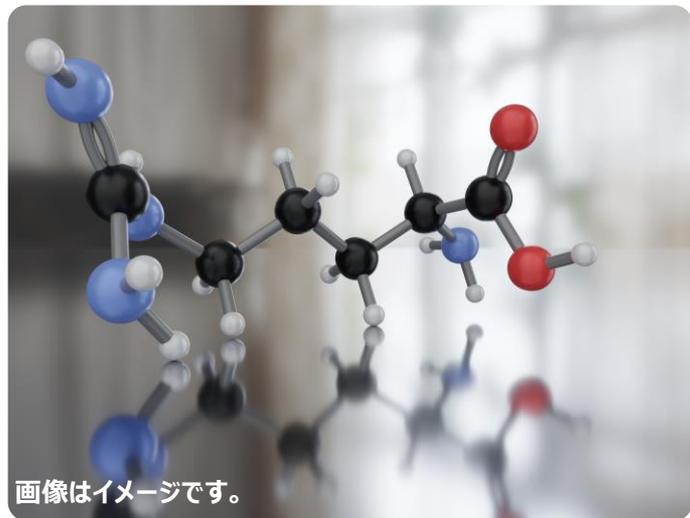




素材の力で日本を、世界を、変える。

株式会社いと

株式会社いと とは…



社名の由来

有機素材“有機活性乳酸”

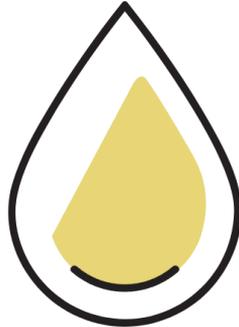
原料成分,糸（いと）状の素材に由来

私たちは、
素材の力で日本を、世界を、変える。

私たちの技術

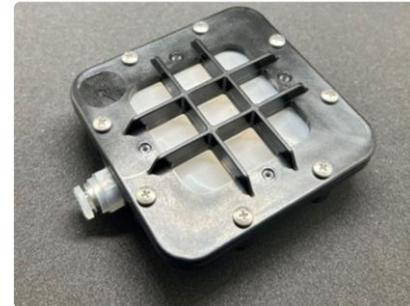


有機活性乳酸



穀物から作りだす
日本国内製造素材
食品由来の有機液肥

Nano Craze -ナノクレイズ-



「ほしい」をつくる。
Creating the Desired.®

有機活性乳酸の機能を
増幅させる特殊機器

【製造】株式会社山田製作所

本社：群馬県伊勢崎市香林町2-1296
売上高：連結：772億円（2023年度）
主要取引先：本田技研工業株式会社など

私たちの技術で貢献

1 作物を選ばず,育苗期から収穫時期まで

2 収穫量・秀品率の向上

根張りが良くなり,花芽分化が早く・クラウンが太くなる。
暑さに強く,果実収穫間隔が短く,大きな果実が実る。

3 農薬・化成肥料の使用量削減

栄養の吸収が良くなり,作物が元気に。窒素肥料削減により,
虫が寄りにくくなり,殺虫剤等の農薬散布回数減少。

このような方におすすめです

- 1 苗づくりに力を入れたい
- 2 暑さ等で収穫量が減少している
- 3 肥料等のコストを削減したい
- 4 農薬を減らし,安心な作物を育てたい

使い方簡単で、すぐ実感



有機活性乳酸

貯水タンクに投入し、
所定時間待つだけ!

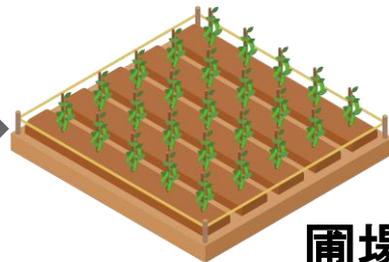


そのまま
灌水



育苗

更に薄く
灌水



圃場



Nano Craze

いちご農家



- *農薬使用量：50%減少
- *肥料使用量：40%減少
- *収穫量：18%増加



改善例

*導入3年目実績

【育苗期】

- 病気発生状況
親株：(例年)100株⇒(現在)2株
子株：(例年)200株⇒(現在)10株
- 農薬・殺菌剤：使用量半減
- 肥料：平年並み

【定植期】

- 病気発生状況
うどんこ病：500パック中
(例年)30パック⇒(現在)3パック
- 農薬・殺菌剤：使用量半減
- 肥料：窒素肥料40%減少
- 収穫量：導入前比較18%増

- 有機活性乳酸：12kg/年
*育苗期(手灌水：3kg使用)
…1,000倍希釈で週1~2回
- *定植期(地中灌水：7kg)
…10万倍希釈で週2~3回
" (葉面散布, 収穫前：2kg)
…~1,000倍希釈で週1~2回
- Nano Craze：1セット

*導入メリット

- *収穫時期が例年より2週間ほど早まり、クリスマス高値取引時に秀品イチゴが納品ができ、収益増大。
- *年々、農薬肥料、特に窒素肥料を大幅削減しているため窒素硝酸態に寄付く虫が減少。殺虫剤使用回数減。
- *投資金額(初年度約80万円、以降50万円/年)であるが、導入前比較で+約500万円の増益。
- *7番果まで大玉が収穫でき、番果間隔が狭い。常に大玉が収穫できるため、パック詰め人件費も削減。

- *土耕培地面積：3反(イチゴ：12,000株)
- *導入商品(機器+有機乳酸 約80万円)

〔試験事例〕

ミニトマト (品種: アイコ)

常に元気!



【育苗17日目】

有機活性乳酸
NanoCraze
栽培



育苗後40日目

猛暑に耐え切れず...



【育苗17日目】

通常栽培

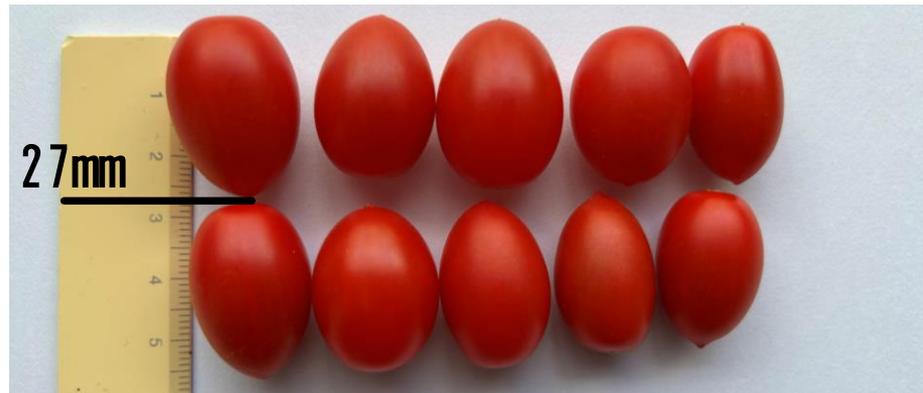


育苗後40日目

有機活性乳酸/NanoCraze栽培

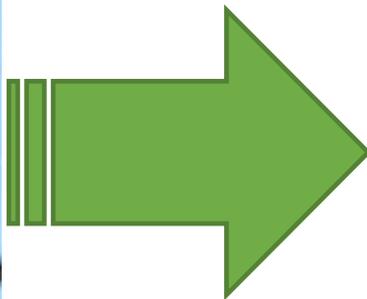


通常栽培



2024年夏は酷暑が続き粒が小さく、収穫量が減少した農家様が多いですが、試験利用者様は**粒が大きく、収穫量増**、**苗疲れを知らず、大玉**を常に収穫。

イチゴ苗〔苗メーカー共同試験〕



ポット全体に白くフレッシュな根が行き渡り、定植後の活着が良い。
保水性と排水性のバランスがよく、病気が発生しにくい。

メカニズム

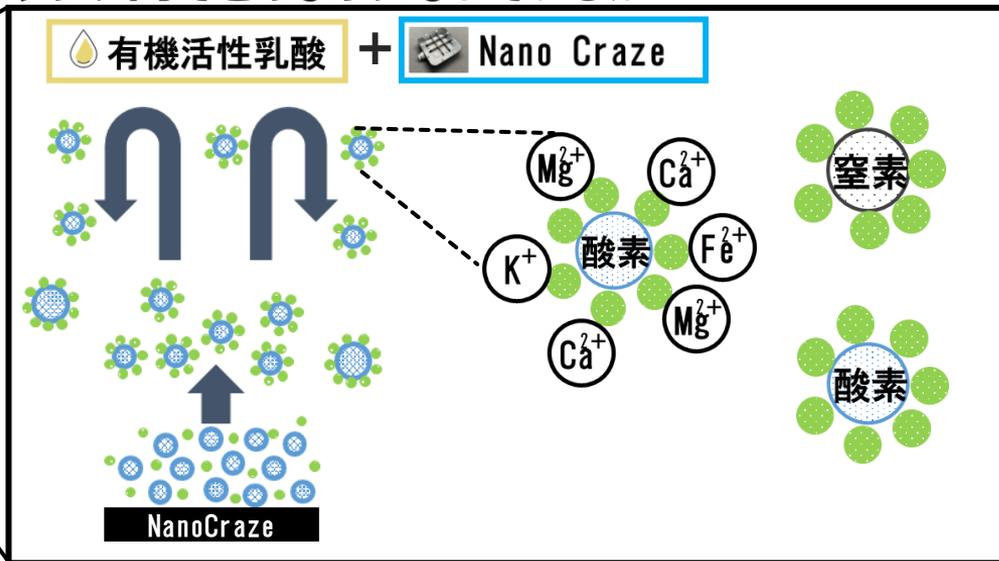
タンク内でどのようなになっているか…



灌水



-  = 有機活性乳酸
-  = 空気



貯水タンク内で有機活性乳酸機能を増幅しながら, NanoCrazeから水中に溶存させる窒素（窒素固定菌に届ける等）・酸素（好気性菌・植物へ届ける等）を放出。有機活性乳酸はキレート作用を持ち, 土中や同時に灌水する栄養素を掴み植物へ届けます。

全国に広がる,実感。



路地栽培/ビニールハウス

いちご/トマト/ナス/きゅうり/梨/ぶどう/ほうれん草
スイカ/生姜/枝豆/バジル/コーヒー/など

施設園芸など

ホームセンター/ゴルフ場/施設園芸管理など



嬉しいお言葉を頂いております！

- ✓育苗期から使用することで根張りが良くなり、冬場でも**カルシウムの吸い上げが良い**です！
- ✓作物が猛暑に強くなり**猛暑でも茎葉がしっかり**とし、たくさんトマトが取れています！
- ✓窒素肥料を40%以上削減し、硝酸耐窒素が減り**虫が寄りつかず殺虫剤の使用回数が激減**！
- ✓他社の装置は地下水が対応できず詰まりが多かったですが、**地下水も問題なく利用**できています！
- ✓貯水タンクのぬめりが減ったことで、**フィルター交換回数が激減**しています。

出展情報

第
14
回

農業 WEEK

通称: J-AGRI TOKYO

ージェイアグリーー

イベント名称: 第14回 農業WEEK 通称J-AGRI TOKYO

*開催期間: 2024年10月9日(水)~11日(金)

*開催場所: 幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

*出展場所: 小間番号6-48

*ご来場には事前登録が必要となります。

URL: [来場 事前登録 \(入場用バッジ登録\) フォーム \(jagri-global.jp\)](https://jagri-global.jp)

または、弊社ホームページをご覧ください。

商品のお求め・お問い合わせ



素材の力で日本を、世界を、変える。

株式会社いと

横浜みなとみらいオフィス

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1丁目 101番地1 7階

TEL:045-394-6456 (受付時間 平日AM9:00~PM5:30)

Mail : info@ito7.jp

当社HP

